

平成三十一年第一回防府市議会定例会

〔行政報告〕

一 新庁舎建設について

二 セルビアホストタウン推進事業について

三 観光事業について



## 行政報告

### 一 新庁舎建設について

昨年八月に開催された庁舎建設調査特別委員会におきまして、現庁舎敷地にて建て替える市の方針をお示しし、その後、補正予算案の承認を経て、現庁舎敷地における建築計画案の作成を行ってまいりました。あわせて、地方財政対策の拡充を国に要望してまいりましたところ、昨年末、市町村役場機能緊急保全事業において経過措置が講じられることになりました。

去る二月十四日に開催された庁舎建設調査特別委員会では、市町村役場機能緊急保全事業の期間延長に伴う市の実質負担の低減に加え、既存施設の賃借等による仮設費ゼロの実現や耐震性のある議会棟の継続使用により事業費を抑制すること、また、それらの財政効果を踏まえるとともに、耐震性がない文化福祉会館の機能を庁舎と複合化すること等を御提案したところでございます。

今後は、新年度の設計着手に向けて、引き続き準備を進めてまいりたいと考えておりますので、市議会の御理解と御協力をお願いいたします。

### 二 セルビアホストタウン推進事業について

現在、防府市青少年科学館ソラールにおいて、一月二十六日から三月三日までを会期とし、日本初公開となる特別展「ニコラ・テスラ展 ～エジソンのライバルと言われたセルビアの天才発明家～」を開催しております。

ニコラ・テスラは、エジソンのライバルと言われたセルビアの天才発明家であり、現在世界中で広く使われている交流電力システムなど私たちの暮らしに欠かせないものの原理も彼が発明したものであります。

今回の特別展では、ニコラ・テスラの生涯や業績などを、セルビアのニコラ・テスラ博物館が日本仕様で制作したパネルと貴重な展示資料で紹介しております。

開幕後は県内外から多くの来館者があり、「日本でニコラ・テスラ展を見ることができたことがすばらしい。」、「電気のこととは詳しくなかったが、現在の生活を便利にしてくれたニコラ・テスラの業績を知ることができた。」などの声をいただいております。

なお、二月十五日はセルビアナショナルデーに合わせた記念イベントといたしまして、来館者全員にクリアファイルをプレゼントし、ナショナルデーのお祝いをしたところであります。

会期も残り十日となりました。子どもたちをはじめ、多くの方々に御来館いただき、ニコラ・テスラの世界を堪能<sup>たん</sup>していただきたく存じます。

来年は、「2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催されます。大いに盛り上げていけるようホストタウン推進事業につきましては、引き続きしっかりと取り組んでまいります。

### 三 観光事業について

一月四日付けで、防府観光マスケットキャラクター「ぶっちー」を「ほうふ宣伝部長」として任命いたしました。

また、ぶっちーは、同日付けで、防府観光コンベンション協会の特別顧問にも就任しており、任命日以降、市内外の様々な行事に登場し、精力的に本市のPRを行っております。

新年度においては、ぶっちーを前面に押し出して、防府観光コンベンション協会とともに、しっかりと防府の名を全国に売り込んでまいります。

最後に、明日、二十三日午後二時から、デザインプラザHOFUにおきまして、本市と防府観光コンベンション協会の共催により、「観光振興フォーラム」を開催いたします。

このフォーラムは、本市と防府観光コンベンション協会が一体的に推し進める、新しい観光振興の姿、「ほうふ観光元年」の取組について、市民の皆様に御紹介させていただくものでございます。

このフォーラムを、防府の観光維新の扉を開く記念すべきものにしたいたいと考えておりますので、市議会議員の皆様におかれましては、是非御来場いただきますようお願い申し上げます。